

○ 学習指導要領と本校の押さえ

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳科の評価

児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

- ・個人内評価
- ・記述式評価
- ・大きくりの評価

学習状況の  
評価の視点

- 1 多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- 2 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

多面的な見方

- 価値についての多様な考えを受け止め合うこと。

多角的な見方

- 価値を汎用的なものとして捉えられること。

自分自身との関わり

- 自分自身の成長と課題に目を向けること。

本校の  
押さえ

○ 道徳科における評価は「学習状況」の評価である。(学習指導要領解説特別の教科 道徳編P105)

道徳科では以下の学習が行われる。

- (1) 道徳的諸価値について理解する学習 (価値理解、人間理解、他者理解)
- (2) 自己を見つめる学習 (自己理解)
- (3) 物事を多面的・多角的に考える学習
- (4) 自己の生き方について考えを深める学習

つまり、上のような学習をしている児童の姿を見取ることが、「学習状況」の評価である。本校では、さらに、次のように具体化し、授業の中で見取ることとした。

- ① 道徳的価値を自分のこととして考えている姿 (1) (2)
- ② 道徳的価値について多面的・多角的に思考している姿 (3)
- ③ 自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方を想起している姿 (1) (4)
- ④ 自己の成長やこれからの課題について考えている姿 (1) (4)

当然ながら、このような姿を見られるようにするには、学習指導過程に評価場面を適切に位置付け、「指導と評価の一体化」を図る必要がある。本校では、以下のように具体化した。

○ 道徳科における「指導と評価の一体化」 ～指導することで評価できる～

【資料1 道徳科における基本的な学習指導過程】

学習指導過程		
導入	○道徳的価値への方向付けと問題意識を喚起する。 ・価値との出会いの工夫 ・学びの必要感をもたせる工夫	○ 学習への意欲付けを行う。 「今日の学習は、自分たちにとって必要だ」という気持ちをもたせることは、「自分のこととして考える姿」につながる。
展開前段	○道徳的価値の理解を図る。 ・多様な考えを受け止め合わせる場 ・一人一人に判断させる場 ・そのための発問構成と交流活動の工夫	○ 道徳的価値を自分のこととして考えさせる。 多面的・多角的な思考を通して、児童が自分なりの道徳的価値観を形成できるようにする（ものさしづくり）。
展開後段	○自己の生き方について考えを深めさせる。 ・今までの自分を振り返らせる場 ・成長や課題に気付く場 ・そのための発問と活動の工夫	○ 形成した価値観に基づいて自分を振り返り、成長や課題に気付かせる。 「自分はどうか」と、じっくりと考えさせるために書く活動を取り入れる。
終末	○実践意欲を喚起する。 ・学習の振り返りや説話等の工夫	○ 実践意欲を喚起する。 学習の振り返りを書かせる場合もある。

この学習指導過程に、評価場面と評価視点を位置付けると次のようになる。

【資料2 道徳科における指導と評価の一体化】

	学習指導過程	評価	
		多面的・多角的思考	自己の生き方について考えを深める
導入	○道徳的価値への方向付けと問題意識の喚起を図る。 ・道徳的価値との出会いの工夫 ・学びの必要感をもたせる工夫		
展開前段	○道徳的価値の理解を図る。 ・多様な考えを受け止め合わせる場 ・一人一人に判断させる場 ・そのための発問構成と交流活動の工夫	○多面的な思考をしているか。 ・多様な考えを受け止めているか。	○自分なりの価値観を形成しているか。 ・交流を踏まえ、主体的に判断できているか。
展開後段	○自己の生き方について考えを深めさせる。 ・今までの自分を振り返らせる場 ・成長や課題に気付く場 ・そのための発問と活動の工夫	○多角的な思考をしているか。 ・価値を様々な場面で実践できる汎用的なものとして捉えているか。	○体験等の想起、成長や課題に気付いているか。 ・体験やそれに伴う感じ方等が想起できているか。 ・自己の成長や課題が記されているか。
終末	○実践意欲を喚起する。 ・学習の振り返りや説話等の工夫		

○ 「多面的」と「多角的」の押さえ

本校では、「多面的な思考」と「多角的な思考」を以下のように分けて考え、主に展開前段で多面的な思考を、主に後段で多角的な思考を見取っている。

多面的な思考とは

- (1) 価値実現の難しさについて考えている。
- (2) 価値を支える価値について考えている。
- (3) 友達の考えを受け止めている。

多角的な思考とは

- (1) 教材場面以外に、価値実現の場を広げて考えている。
- (2) 価値実現の場は、日常にいろいろあると考えている。
- ※ 価値を汎用的なものとして捉えている。

## ○「多面的な思考」に関する評価

多面的な思考ができているかどうかは、主に展開前段に行く。見取りの場面は中心発問の場面である。中心発問の場面では、児童の「書く活動」や「交流活動」を積極的に取り入れている。

### ◇1－（1）交流活動の姿から、「多面的な思考」を見取る。

#### 教師の見取り

#### おゆみの所見



入っちゃだめな場所に、わかっているのに入ってしまう登場人物の気持ちを発表していたな。  
当初は、人間理解の面から価値について考えることが苦手だったのに、成長したな。

年度当初は、誰もがもっている「心の弱さ」について、なかなか共感できなかった〇〇さんですが、今では、わかっているもついやってしまう時に感じる気持ちなどを素直に表現することができています。



友達との自由交流の時間を楽しんでいたな。  
自分の考えが思いつかない時も、友達の考えから学び取ろうとする姿勢が立派だったな。

友達と積極的に考えを交流し、多くの友達の考えを聞くことを楽しんでます。時には、相手に質問をする場面もありました。他者と分かり合いたいという〇〇さんの気持ちが感じられました。



自由交流で、友達の考えをワークシートに追記していたな。「どうして書き込んだの」と聞いたら、「納得したから」と言っていた。多様な考えを受け止めている姿だな。

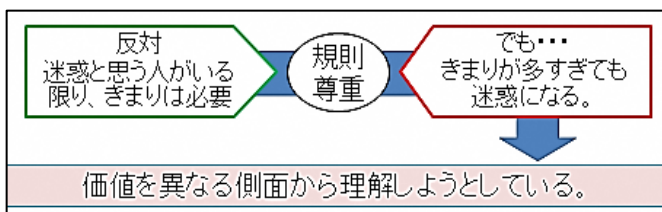
友達と考えを交流する時間では、自分の考えを伝えるだけではなく、「なるほど」と思った友達の考えを追加で記入する姿がよく見られました。友達の考えに学ぼうとする姿勢が素晴らしいです。

### ◇1－（2）記述内容から、「多面的な思考」を見取る。

めいわくと思う人が少なくなつて、きまりを  
だぶる人が少なくなつても、めいわくと思う人  
は、いるからきまりは、あつた方がいゝ！  
きまりをどうして作る人がいたらまた  
新しいきまりを作んならばいけないから、ごんごん  
きまりが増えていって、きまりだらけになつてめいわくに  
なる。④か〇か△か×を かいてください。

前半の文は、「きまりはあつた方がよい」という考えだが、交流活動の最中に、「きまりが増えていっても迷惑になる」という考えを追記したんだな。

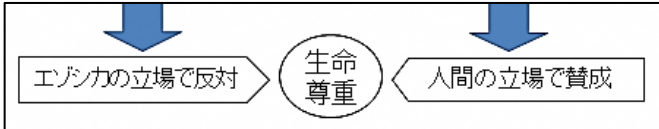
「規則の尊重」を異なる側面からも考えることができています。



友達の考えをしっかりと受け止め、異なる考えも大切にしようとする姿が見られました。

道徳ノートに、「なるほど」と納得した友達の考えを記入しています。道徳的な価値について、多様な考え方を大切にしようとしている姿に成長を感じました。

はんたい  
 理由は、人間もエゾシカにひがいをあたえ  
 れたらさるけど、エゾシカもつきつきくじされ  
 る家族や友だちないいろいろなとあえなくな  
 り食べ物が食べられなくなる。



「エゾシカを駆除するという考えについて、賛成か、反対か」という発問に対する考え。  
 「反対」の意見ではあるが、駆除に「賛成」の意見も踏まえて判断している。「エゾシカの立場」で、考えているのはすごい。多様な見方ができていたことを保護者に伝えたいな。

〇〇さんの道徳ノートには、「自分にとってはよいことでも、相手にとってはそうとは限らない」という考え方が随所に記されています。物事を判断する時に、異なる視点から考えられる〇〇さんのよさが、よく表れています。

〇「多角的な思考」に関する評価

多角的な思考ができているかどうかの見取りは主に展開後段に行く。見取りの場面は自分自身を振り返る場面である。展開後段においても、児童の「書く活動」や「交流活動」を積極的に取り入れている。

◇2- (1) 交流活動の姿から、「多角的な思考」を見取る。



学習した価値を活用できそうな場面を出し合ったグループ活動では、思いついた様々な場面を発表していた。  
 価値を汎用的に捉えることができていたな。

大切だと考えた価値を、日常生活に当てはめて考える活動では、様々な場面を思いついて発表できました。〇〇さんの考えを聞いた友達も、「確かにそうだ」と気付く姿がたくさん見られました。

◇2- (2) 記述内容から、「多角的な思考」を見取る。

3 自分は、今まで本当の親切と言える行動をどれくらいしてきたか。

親切

駆けかいて、前かたんの時、一人だけして、〇〇〇くんが今までやってきたのを、今日、母と一緒に、2年生が土をこぼして、今日、一人で行くか、土をほうぎでひきました。

今日は、本当の親切は「ほめられたからではなく、相手の困りをなくすためにすること」だと分かった。  
 自分も、できていることが分かった。

それに基づいて、今までの自分を振り返る具体的な記述

「電車でお年寄りに席を譲る」という教材であったが、「清掃活動」の体験を想起している。ねらいとする価値「親切、思いやり」を日常生活に広げて考えている。  
 価値を汎用的に捉えることができていた。

道徳的な価値を、日常生活に当てはめて考えることができます。自分のこととして捉え、今までの自分の体験と照らし合わせて、その時の気持ちや考え方を思い出すことができていました。

## ○ 「自己の生き方についての考えを深める」に関する評価

自己の生き方についての考えを深めているかについての見取りは、主に展開後段に行く。見取りの場面は、児童が自分自身を振り返る場面となる。展開後段においても、児童の「書く活動」や「交流活動」を積極的に取り入れている。

### ◇3- (1) 交流活動の姿から、「自己の生き方についての考えを深める姿」を見取る。



特に、ネームカードを使って、今までの自分を振り返る交流場面で意欲的に活動していたな。  
友達の考えもしっかり聞いて、自分なりの判断が下せていた。成長したな。

ネームカードを貼り、立場をはっきりさせて友達と意見交流する場面が多く見られました。友達の考えを受け止め、その上で「私はこう思う」と、自分の考えを話していた〇〇さんの姿に成長を感じました。

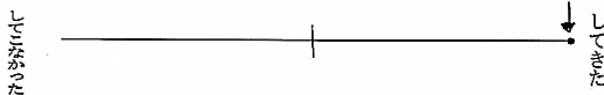


発言は少ないけれど、自分自身を振り返って書く活動の時は、いつも一生懸命だったな。  
自分との関わりの中で、価値について真剣に向き合う姿は、保護者にぜひ伝えたいな。

学習の後半に、学習した価値を自分自身に当てはめて考える活動では、いつも一生懸命考えていました。自分自身の成長や、課題について真剣に向き合おうとする姿は、大変立派です。

### ◇3- (2) 記述内容から「自己の生き方についての考えを深める姿」を見取る。

3 自分は、今まで本当の親切と言える行動をどれくらいしてきたか。



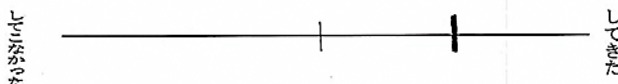
その理由は

が重そうにビケツを運んでいるのがみえたとき、そうじ中だ、たけが自然に体が動いて手伝った。運びおわると、が笑顔で「ありがとう」といってくれたからうれしかった。

ねらいとする道徳的価値「親切、思いやり」に沿って、自分自身の体験や、その時の感じ方が記されている。年度当初にはあまり見られなかったな。

4月当初は、自分自身の体験やその時の気持ちについてなかなか書くことができなかった〇〇さんですが、具体的に書けるようになりました。学習した道徳的価値を自分自身に関係のあることとして捉えることができています。

3 自分は、今まで本当の親切と言える行動をどれくらいしてきたか。



その理由は

しんせつをしなさいびをしたらもう自分にはすすめてもらえなくなるから、たえは自分がかがしたときにしんせつをしなくてはいけない。

〇〇さんは、今までこのように考えて親切な行為をしてきたのだな。ここに書かれていることが、自分自身の課題として大切にしていこうと考えているのだな。

学習した道徳的な価値を、日常生活に当てはめて、自分がどんなことに気を付けて生活してきたのか、そしてこれからの課題は何かをしっかりと捉えることができていました。

## ○ 保護者により伝わる所見にするために

本校では、あゆみの所見に児童の学習状況の評価に加え、その根拠となる特徴的な具体を例示することにした。それによって、保護者が児童の学習状況を一層イメージできると考えたためである。

その際は、あくまで一つの具体的な例として取り上げる意識をもつことで、内容項目ごとの評価と捉えられないように配慮している。

### 【資料3 児童の具体的な姿を伝えることを重視した学習状況の評価点】

学習状況の評価	根拠を例示した学習状況の評価
<p>年度当初は、誰もがもっている「心の弱さ」について、なかなか共感できなかつた〇〇さんですが、今では、わかっていてもついやってしまう時に感じる気持ちなどを素直に表現することでできています。</p>	<p>年度当初は、誰もがもっている「心の弱さ」について、なかなか共感できなかつた〇〇さんですが、今では、わかっていてもついやってしまう時に感じる気持ちなどを素直に表現することでできています。</p> <p>例えば、「きまりの大切さ」の学習では、入ってはいけない場所に入ってしまった登場人物の気持ちを考え、「それに負けてはいけない」と話していました。</p>
<p>友達と考えを交流する時間では、自分の考えを伝えるだけではなく、「なるほど」と思った友達の考えを追加で記入する姿がよく見られました。友達の考えに学ぼうとする姿勢が素晴らしいです。</p>	<p>友達と考えを交流する時間では、自分の考えを伝えるだけではなく、「なるほど」と思った友達の考えを追加で記入する姿がよく見られました。友達の考えに学ぼうとする姿勢が素晴らしいです。</p> <p>例えば、「生命の大切さ」の学習では、「動物にも家族がいるから、動物の命も大切だ」という考えを、熱心にメモしていました。</p>
<p>〇〇さんの道徳ノートには、「自分にとってはよいことでも、相手にとってはそうとは限らない」という考え方が随所に記されています。物事を判断する時に、異なる視点から考えられる〇〇さんのよさが、よく表れています。</p>	<p>〇〇さんの道徳ノートには、「自分にとってはよいことでも、相手にとってはそうとは限らない」という考え方が随所に記されています。物事を判断する時に、異なる視点から考えられる〇〇さんのよさが、よく表れています。</p> <p>例えば、「きまり」の学習では、「きまりによって守られる時と、きゅうくつな時がある」と双方の考え方に共感していました。</p>
<p>ネームカードを貼り、立場をはっきりさせて友達と意見交流する場面が多く見られました。友達の考え受け止め、その上で「私はこう思う」と、自分の考えを話していた〇〇さんの姿に成長を感じました。</p>	<p>ネームカードを貼り、立場をはっきりさせて友達と意見交流する場面が多く見られました。例えば、「友情」の学習で、友達に間違いを指摘できるかどうかの話合いの中で、友達の考えを受け止め、その上で「私はこう思う」と、自分の考えを話していた〇〇さんの姿に成長を感じました。</p>
<p>年度当初は、自分自身の体験やその時の気持ちについてなかなか書くことができなかった〇〇さんですが、具体的に書けるようになりました。学習した道徳的な価値を自分自身に関係のあることとして捉えることができています。</p>	<p>4月当初は、自分自身の体験やその時の気持ちについてなかなか書くことができなかった〇〇さんですが、例えば、「思いやり」の学習では、掃除の時に<b>お礼を言われて嬉しかったこと</b>などを具体的に書けるようになりました。学習した道徳的な価値を自分自身に関係のあることとして捉えることができています。</p>

指導要録に記載

あゆみの所見に記載

## ○ 「評価場面」「評価材」「評価視点」の関係

学習状況を適切に評価するためには、児童の学習状況が見える授業でなくてはならない。本校が求める児童の学習状況は、「多面的、多角的な思考」と「自己の生き方について考えを深める」状況である。そのために、発問を工夫し、交流活動をコーディネートするのである。

評価場面や評価材を明らかにし、評価視点を明確にすることで、児童の「多面的、多角的な思考」と「自己の生き方について考えを深める」学習状況を見取っていきたいと考えている。

### 【資料4 評価場面、評価材、評価視点】

